

## 「カメわなの設置・撤去講習会」を実施しました！

平成29年8月1日(火)に『西尾いきものふれあいの里』にある小草池で「カメわなの設置・撤去講習会」を開催しました。この活動は、外来種のみししっぴアカミミガメが生息域を拡大する中で、日本固有種であるニホンイシガメの生息環境を保全するための活動で、地域の方々がカメわなの設置・撤去方法を学び、自らの手でワナを利用してのみししっぴアカミミガメを駆除する流れを作り出そうと開催しました。

なお、この取組は、当協議会はじめ、西尾市、碧南海浜水族館と連携して行っており、のみししっぴアカミミガメを駆除することにより、小草池のニホンイシガメの生息環境の改善を図るとともに、捕獲したニホンイシガメを、水族館敷地内の生息施設で繁殖させた後、生息環境が整った小草池はじめ地域の自然に戻すプロジェクトの一環です。

当日は、講師に矢部隆副会長（愛知学泉大学教授）と田村ユカ氏（名古屋大学大学院環境学研究科生）を迎え、総勢25名が2班に分かれ、「カゴわな」に魚の頭などの餌を入れたり、設置方法について指導を受けて、24基を池に仕掛けました。

2日(水)には、西尾市が主催する「にしお大学環境学習講座」において、前日の「カメわなの設置・撤去講習会」で仕掛けたわなを一つひとつ確認し、のみししっぴアカミミガメ36匹、クサガメ7匹、スッポン19匹、ニホンイシガメ2匹を捕獲しました。受講生らは水生生物の生態調査などを通して生物多様性の大切さを学びました。

最後に片山会長（人間環境大学名誉教授）から、「協議会員と西尾市と碧南海浜水族館の連携により、今後も住民参加によるのみししっぴアカミミガメの防除を継続し、ニホンイシガメの生息環境の保全を進めたい」との挨拶があり、活動を終了しました。

写 真	内 容
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>

写 真	内 容
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>
	<p>行事名：カメわなの設置・撤去講習会</p> <p>日時：平成29年8月1日(火)</p> <p>場所：西尾いきものふれあいの里・小草池</p> <p>参加者数：25名</p>